

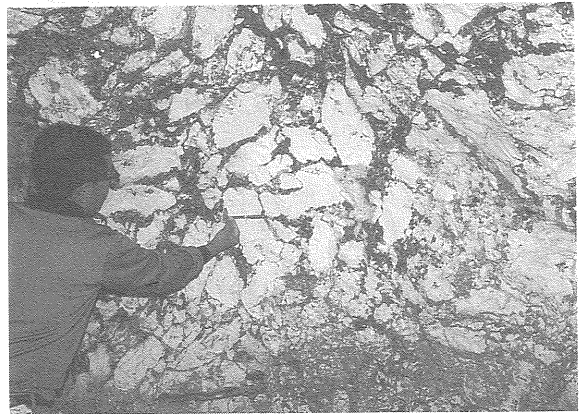


## カオリン化した巨大長石

ブラジルのバイア(Bahia)州周辺には、始生代の片麻岩に貫入したペグマタイトやアプライトが多産し、風化作用を受けてカオリン化したものが製紙原料や窯業原料として採掘され、主に国外の需要にあてられている。ここで紹介する Conquista 町(南緯15度、西経42度)に近い Fazenda voa Vista 鉱山は、日本人が経営する数人の小規模鉱山で、ペグマタイト中のカオリン化した長石を採掘している。長石結晶(元はカリ長石と思われる)は完全にカオリン化しており、通常径数 cm から10数 cm であるが、最大長1.2 m に及ぶ。結晶の間は石英と白雲母が充填し、手堀りでも採掘できる状態になっている。

(写真: 丸紅株式会社資源調査開発部)

文: 元地質調査所 井上秀雄)



- 1(上). カオリン化した巨大長石結晶(左右1.2 m).
- 2(中). 代表的なカオリン鉱石。暗色部は石英と白雲母。
- 3(下). Fazenda voa Vista 鉱山の入口。左右は石英と白雲母からなる部分。